

避難所運営のデジタル化に関する実証実験（岩手県主催）に協力しました。

2024年9月18日 開催

キーワード：地域支援、防災 DX

開催場所：久慈市宇部市民センター（岩手県久慈市）

2024年9月18日（水）、県が久慈市と連携し、避難所運営のデジタル化に関する実証実験が行われ、防災復興支援センター 副センター長 杉安和也（総合政策学部）及び学生団体FROMメンバー8名が、久慈市宇部町の地域住民約30名とともに参加しました。

この実証実験は、県内ではじめて取り組むもので、従来の紙で行う入所受付作業と、スマートフォンLINEアプリを活用した場合とで、かかる時間を検証しました。前者は1人につきおよそ3分かかったのに対し、後者は1人につき15秒ほどで済むことがわかりました。あわせて、受付業務だけでなく、避難所以外の場所にいる方の位置情報の把握や、支援物資のニーズの把握にも活用できることを体感的に理解しました。

FROMメンバーは、LINEアプリの操作が困難な地域住民に対する操作補助も行い、デジタル化にあたっては、高齢者等へのサポートが一層大事だという気づきもありました。

岩手県立大学防災復興支援センターでは、今後も、自治体と連携した地域支援に取り組んでまいります。



写真1 実証実験会場



写真2 LINEアプリの操作を補助



写真3 従来の紙による受付を体験



写真4 LINEアプリによる受付を体験



写真5 参加した杉安副センター長、FROMメンバー